

# トナカイの「ベルちゃん」

トナカイは北極圏の周辺に分布していて、寒さにはとても強い反面、暑さがたいそう苦手です。このため、もうすぐ6歳になる雌のベルちゃんは、南園（家畜ゾーン）の一番涼しい所で暮らしています。

担当が代わってそれほど日にちがたっていませんが、ときに恥ずかしがるようなしぐさをみせ、ときに甘えてくるみたいなの振る舞いはとてもかわいく、心を奪われてしまします。

## 飼育員 日誌

須坂市動物園



ほかのシカの仲間とは本来、雌には角が生えません。けれどもトナカイは、雌も角を持っていて、1年に1度、生えかわります。

### 「変身」の真ただ中

ベルちゃんは現在、そのさなかになり、袋角がグングンと伸びています。袋角とは、抜けた角のあとから、新たに生えてくる角のことで、茶褐色の毛に覆われてモコモコとしています。内側には血管があり、十分に伸長すると血液が止まり、外側が乾燥します。その状態になると多くのトナカイは、木などに袋角をこすりつけて乾燥した部分を剥ぐのです。すると、白っぽい立派な角が出てくるわけです。

今年はや暖冬のせいかな、例年より早く角が落ちたようです。ベルちゃんは今、「変身」の真ただ中です。

（トナカイ担当 小林功）

